

ヘアカラーにおける4つの

ヘアサロンに対して取材をする中で浮き彫りになった、ヘアカラーにまつわる4つの課題。「(ホームカラーとの差別化のために)サロンならではの仕上がりをどのように提案するか」「(あまり色で遊べない)コンサバ層にはどのように提案するか」「ファーストグレイ世代へはどのように提案するか」「ナチュラル志向の顧客にはどのように提案するか」。ここでは、業界を代表する人気サロンにその対処法を聞いた。

課題
1

サロンならではの仕上がりの提案

YOKOTA ヨコタ

“パーソナルカラーはコミュニケーションツール”

YOKOTAの店舗の中でも、「マニ クレアーレ ティント」はヘアカラーデザインを前面にフィーチャーした店舗になっている。通常よりもホイルの枚数を少なくし、手軽に立体感のあるカラーリングが楽しめる「ホイルワークポイント」や、根元など気になる部分だけをリタッチする「Tゾーンカラー」など、「時間がなくてカラーリングを楽しみたい」というニーズにも対応するカラーメニューを揃えている。

またトレーニングを受けたスタッフが、ツールを用いて顧客の肌や髪に似合う色をアドバイスする「パーソナルカラー診断」を実施。感覚ではなく、理論に基づいて表情を明るく見せるヘアカラーを提案している。「パーソナルカラーは、ルミネ新宿1店のみのメニュー。服を買った帰りに来店するお客さまも多いので、買った服に合う色などもアドバイスしている」と柳田佳孝・店長。顧客と一緒に本当に似合う髪色を見付け出し、ホイルワークなどのテクニックを駆使して髪に実現させることで、ホームカラーとの違いを圧倒的なものにしていく。



柳田佳孝/店長



1. パーソナルカラー診断は、顧客に髪色を遊んでもらうためのコミュニケーションツールになっている。2. ホイルの枚数を少なくして価格も抑えた、特短ホイルワークが人気

2



SALON DATA

mani CREATE tinto(マニ クレアーレ ティント)ルミネ新宿1店/東京都新宿区西新宿1-1-5 ルミネ新宿1-8 階。www.yokota-byg.co.jp/shops/mani_create/

課題
2

コンサバ層への提案

MINX ミンクス

“ツヤがあって長持ちする” “コンサバ8”のブラウンを提案

一般企業においては、まだまだ髪色に対する規制が厳しく、“髪色を楽しみたいけどできない”OL層は少なくない。しかし、無難なブラウンばかり提案していたのでは、飽きられてホームカラーに移行されてしまう。おしゃれ感度の高い女性が多い、銀座のサロンならなおさらだ。「明るいカラーのできないお客さまには、8レベルのブラウンを提案している。明るすぎず暗すぎない絶妙な色みで、ツヤがあって長持ちする。うちでは“コンサバ8”というニックネームが付くほど、お客さまからのウケがいい」と佐藤和徳・トップデザイナー。「デザイン的には、アンダーセクションにだけ色み



佐藤和徳/トップデザイナー

を入れて、風が吹いたときだけ見えるとか、外巻きにしたときだけ見えるといった感じで、サロンならではの提案をしている。また、サロンカラーのツヤ感はぜひにホームカラーには負けないので、素直にツヤ感をアピールしている」。



8レベルで染めた佐藤トップデザイナーの作品



SALON DATA

ダーリング プレミアム ミンクス ギンザ(Darling premium MINX ginza)/東京都中央区銀座6-9-7 近畿建物館ビル2階。www.minx-net.co.jp/

“安売り”ではなく“時短”を追求したヘアカラー専門店

COLOR BAR カラーバー

東京・恵比寿のヘアサロン「アージュ」は昨年、世田谷区にカラー専門店「カラーバー学芸大学店」を、今年4月には自由が丘に2店舗目をオープンした。これは、スタッフがしっかりとしたカウンセリングをしたうえでヘアカラーやトリートメントの塗布を行い、シャンプーはオートシャンプー、ドライとスタイリングは客が自ら行う半セルフ式カラー専門店だ。スタッフの施術時間を削ることで、価格を通常のヘアサロンの約1/3に抑えている。廣瀬樹一郎・カラーバー事業部 部長は「時間をかけずに素早くカラーをしたい」という顧客のニーズに応えるために出店をした。単にコストダウンをして“安売り”をしているわけではなく、通常のヘアサロンにありがちなスタイリストとアシスタントとの連携やスタイリストの自己満足によるデザインといった無駄な時間を省いた結果。また、安いからといって、一定のカラーしかできないわけではない。「ウエラ」のカラー剤を豊富に取り揃え、幅広いヘアカラーデザインに対応している。ターゲットは、ホームカラーで済ませてしまっている人だ」と話す。出店して約1年が経った学芸大学店は、かなり賑わっているようだ。2店舗を統括する内田直人・カラーバー エリアマネージャーは「オープンの朝9時から行列ができ、14時までずっと満席の状態が続くほど。今後は、各駅に1サロンを展開できるように成長させていきたい」と今後のビジョンを語った。



廣瀬樹一郎/カラーバー事業部 部長 内田直人/カラーバー エリアマネージャー



SALON DATA

カラーバー自由が丘店/東京都目黒区自由が丘2-15-8 03-5726-9595

ヘアカラー剤とトリートメント剤、スタイリング剤は全てウエラの製品を揃えている。施術料金は、ヘアカラー2980円〜、リタッチカラー1980円〜、トリートメント980円〜

TOPICS 1